

【田代から山頂へ】

田代峠から一キロほど東に下ると、(庭坂峠からの合流地点よりさらに五百メートル下る) 田代からの登山口となる。ここは、田代地区の共同墓地の入り口にもなっていて、家用車は、三台ほど駐車できるスペースがあるほか、電力線が分かれて太郎坊山に向かっているので目印にしたい。この電柱は、**太郎坊線1**である。

左手に水田を見ながら三百メートルほど進むと共同墓地がある。水田はここで終わりだが、沢沿いに百五十メートル進んだところに分岐点がある。右の道は作業道であり、左は作業道兼回り道であるので真中の道を進むと良い。さらに



ササゲ石

【長寿山へ】

田代峠からの吾妻・安達太良連峰の展望はすばらしいが、峠の東斜面を見上げると一つの山頂がある。地名でいうと「小倉山」であるが、地元の人々は「長寿山」と呼ぶ標高五六五・八メートルの展望抜群の山である。ここには三等三角点がある。太郎坊山登山口の北東側三十メートルの所が長寿山の登山口である。木材の運搬道を三百メートル進むと尾根に出る。ここから尾根伝いに二百メートルで山頂である。山頂には象徴的な一本松が生えている。北を望むと霊山や蔵王連峰、南には那須連峰と川俣の町並みが手に取るように見えて、まさに三百六十度の展望が得られる。